



バラ色って？

ノイバラ、ヤマブキ、チングルマ、ウワミズザクラ、ソメイヨシノ、ボケ(バラ科)

盛岡森林管理署 森林技術指導官 松尾 亨

「将来の国有林はバラ色となる」との訓示でスタートして早30年、確かに森林資源量は2倍に成長し木材自給率も回復していますが、バラ色かな？・・・今年度もいろんな思いを胸にスタートした皆さんに、バラ科の話をしてします。

日本各地で見られるノイバラは、初夏に芳香ある白い花が特徴で、秋に赤く熟す実も生け花にも使われます。ヤマブキは道や川沿いの開けた斜面で群落となり、桜が終わる頃、名の由来のごとく「山吹色」に咲きます。草本そうほんと思われるがちな高山植物のチングルマですが木本で、白い花弁と黄色の雄しべがポイント。由来は綿毛になった種の状態を稚児車に見立たこと。ウワミズザクラは穂状に白い小さい集合花つけ、晩夏に小粒の赤い実となります。新潟ではつぼみの塩漬あんじんこを杏仁香として食すそうです。以上4種が野生種。ソメイヨシノはお花見には欠かせな

い桜で、葉が出る前に一斉に咲くのでまさに花盛り、江戸時代の職人による園芸種です。ボケは平安時代中国から渡来した樹木でこちらも園芸種です。花柄が短く花が枝に直接付くよう咲き、楕円形の実をつけ盆栽や庭木としても人気があります。

バラ科は古くから食用や園芸種として改良された種が多くあり、草本の苺そうほんや木本の林檎もくほん、梨、薔薇などは、甘さ、酸味、食感、色、香りなど野生種と比較してすばらしいし特色を持っています。野生種には原風景とマッチングの魅力がありますね！

バラ色って？の疑問は今だ解けていませんが、バラ色の未来を夢見ることはいろいろな意味でプラスなはず。最後に言い忘れていましたが、バラにはトゲがあるんです。くれぐれもバラ色の妄想は、トゲに御用心！



ノイバラ



ヤマブキ



チングルマ



ウワミズザクラ



ソメイヨシノ



ボケ